

都心でありながら生活感あふれる谷町六丁目。ここに移り住み6年半が経ちます。住宅設計を仕事としている私にとって、空堀界隈ではごく自然な、人が建物や環境に合わせ上手く暮らしているのを見ると、新品の住まいや、新型設備が常に最良とは言えないと感じます。

通りへの水打ちはイベントではなく日常。セキュリティはセコムではなく隣のおばちゃん。健康管理はジム通いではなく井戸端会議。そんな地域と密着した暮らし方が今でも普通にあるのを見聞きすると、「ああこんな所に住み続けたいなあ」と思ってしまう。

空堀の路地から 生まれるもの

近頃改めてこの地に魅力を感じるの、昔ながらのコミュニティです。そして建物や街並みから生まれるたまたまも大きな役割を果たしています。木の造の長屋に囲まれた路地空間がなぜ心地よく感じると言う人は多いはず。

長屋が空き家や駐車場になることも多くなり、又老朽化した建物を安全に維持するのは容易ではありません。防犯や防災に対する要求も時代と共に変わってきています。地域の持つ独特の空気感に惹かれ、この地を生活の場に選ぶ人も、住まいるのも事実です。そんな中でこ

の空堀の良さを引き継ぐために何をすればいいのでしょうか？

最近、空堀で古い長屋の耐震改修に携わる機会がありました。若い夫婦が出産を機に安心出来る住まいで暮らしたいという相談です。築百年近い長屋は傷みも激しく、路地奥の改修工事は手間もかかりました。また、路地の防災は一軒の改善だけでは済まない問題も多く、今後の課題もあります。

しかし、顔の見えるコミュニティという、この時代にこそ必要な路地ならではの良さもあります。そして、限られた予算でも、厳しい状況でも、出来ることは沢山あります。あきらめず、小さな試みを重ねて、不安を安心へ近づけることは、とても意味のあることだと思えます。



でもある防災への取り組みと、新旧住民の新しいコミュニケーションが地域の環境を良くするポイントになるでしょう。

ご近所同士の小さな声掛けがきっかけになり、路地や住まいが、時代に即してゆつくりと更新されていく。そんな人の繋がりが活かせる住環境に、空堀らしい速度でゆつくりじっくり関わっていきたいと思います。

(建築設計室 Morizo - 内田利恵子)

第16号
(2009.09.10)

「空堀界隈をご散策される皆様へ」

- ◆ 路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆ 美しい石畳や木造家屋に「ゴミ」は似合いません。
- ◆ 商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

バザーのお知らせ

11月10日(火)、11日(水)からほりサロン
時間 10時～4時 掘り出し物もあります。お待ちしております。

ケアプランの学び

家族の介護、自分の介護をその日にあわてないようにシミュレーションで話し合い学んでいます。必要な情報も知ることが出来る。もっと先でというより、転ばぬ先の杖に参加お勧めです。

チャリティー 懐かしの童謡・唱歌を歌いましょう

10月14日(水)午後1時30分～4時
大阪府ドーンセンター
申し込み 朝日新聞厚生文化事業団
FAX06-6231-3004

からほり伝言板

かみなり亭寄席 奇数月の第2土曜日午後6時30分～。会場:葉業年金会館。出演:笑福亭一門ほか。
問い合わせ:06-6768-3549

もも祭り 場所 桃谷公園
10月4日(日)

楓ギャラリー

展示内容はホームページでご確認ください。
www.7a.biglobe.ne.jp/~kaede/g/

買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは？

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、絵手紙くらぶなど)
- ⑤大阪の文学を読む会(学び)
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
(おとうぶ屋さんのおとなり)
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: www9.ocn.ne.jp/~ode-kake/

「からほり新聞」は高齢者外出介助の会に集う有志が、愛する「からほり」の賑わいを願って作っている無料のコミュニティ紙です。ご意見・感想・投稿・イベント情報などお待ちしております。また、「新聞置いてあげてもいいよ」とおっしゃってくださるお店も大募集。

「からほり新聞に参加したいな」と思われる方、大歓迎です。気軽にご連絡ください。(現在55カ所設置)

マリンバを楽しみませんか？

毎週木曜日「からほりさん」で教室をしています。
見学・体験(1回)大歓迎!!

くわしくは高齢者外出介助の会でお問い合わせください。
指導:北口 桂

喰べ処 呑み処 おそうぎいの店

島やん

谷町6丁目12-8 TEL 6762-9288
営業時間:PM5:00～11:00(定休日:月曜日)



横浜生まれで神戸育ちの純子さんが、着物に愛着を持つようになったのは、たんすの中に、おじいちゃんやおばあちゃん、おかあさんの着物を見つけた時から。「これはお茶時に着たものよ」という思い出話を聞きながら、布地を傷めないように丁

寧にほどこいてみれば、およそ1尺1寸(33・3cm)幅の長方形の生地になる。たとえ、シミやキズがあっても、その部分だけ付け替えれば着回すことができるし、最後には布団や雑巾などに再利用できる。ものを大切にしたいという着物の

合理性と機能美に着目した純子さんは、持ち主の思いの詰まった着物をそのままのカタチで残したいと、生地に見えるだけハサミを入れないリメイクドレスを作るようになった。

純子さんが提案する「ほどこいて、折って、まっすぐ縫うだけ!」形いろいろ、きれいなスタイルのワンピース&スカート」が載っている『型紙いらずの着物リメイク・ドレス』(河出書房新社)が2007年に出版。純子さんの作品はさらに注目されるようになり、朝日カルチャーセンター芦屋教室でもソーイング教室を開催。NHKの人気番組「おしゃれ工房」からも出演依頼が舞い込むようになった。

空堀に住むまでの純子さんは、「大阪は人の多いところだな」という感想を抱いていたが、町を愛してやまない不動産屋さんの成川健商店の先代との出会いがきっかけで路地の住人に。今では、新しい人を隔たりなく受け入れてくれる空堀がすっかり

「2009年9月号に掲載&出演」。

空堀に住むまでの純子さんは、「大阪は人の多いところだな」という感想を抱いていたが、町を愛してやまない不動産屋さんの成川健商店の先代との出会いがきっかけで路地の住人に。今では、新しい人を隔たりなく受け入れてくれる空堀がすっかり

松下純子さんが自らのブランドであるWrap Around R (ラップアラウンドロープ)を立ち上げ、空堀にRoiirroom(ロジルーム)を構えたのは2005年のこと。築80年以上の古民家を、ラウンドスケープデザイナーの夫岳生さん共にリノベーション(修復)しました。純子さんの素敵な作品世界と人柄をご紹介します。

※からほり新聞第15号巻頭に、松下岳生さんは「エコレジ空堀」を寄稿

ラップアラウンドロープ 松下純子さん

快傑!からほり人

快傑ファイル其の十四

第1回 生活編 9月19日(土) 午後1時30分~3時00分

長屋暮らしの知恵

水尻みち

長屋で快適に暮らす収納術を考え、住みやすい空間づくりを語っていただきます。

第2回 歴史編 9月26日(土) 午後1時30分~3時00分

次代に伝えたい昔の話

たなかやすこ

昔の空堀の話や、生まれ育った空堀の思い出、戦争体験等を語っていただきます。

第3回 散策編 10月3日(土) 午前10時00分~11時30分

隠れた見所の発見!!

千万多津子

大阪の歴史を中心にまち案内を25年間続けてきた経験を活かし、空堀のまち歩きを行っていただきます。

見学予定コース: 沢井亭 住友鋼索所跡 近松門左衛門墓 惣 練

空堀

発見

つたえたい文化

場所 : からほりサロン (空堀商店街西側出口)
対象 : 空堀に興味のある方!!
定員 : 各回20名 (先着順)
参加費 : 500円 (各回)

2連続講座+まち歩き



申し込み
お問合せ先

からほりサロン

〒542-0067
大阪市中央区松屋町4-8メイツ松屋町
営業時間: 平日 10:00-17:00
06-6764-4002

特定非営利活動法人 主催: 高齢者外出介助の会「からほり新聞制作チーム」 上町台地マイルドHOPEゾーン協議会まちづくり提案事業助成認定事業

長屋シェアリング

1戸の長屋に3人で住む

空堀で1戸の長屋で数人が集まって住む生活（ルームシェアリング）が密かにはやっつてる？約1年前からとある路地で、初めましての3人組で長屋シェアをしている方のお話を伺いました。

ここに住んだきつかけは、ルームシェアという住み方に前々から興味があり、大家さんと下見で家の中や空堀地域の案内をしてもらい、ビビッときたので即決しちゃったそうです。そこから、路地にある長屋で見ず知らずの女の子3人の共同生活が始まりました。

楽しい長屋生活が始まったが：最初は「冬寒過ぎ！」「ブレーカー落ち過ぎ！」「音響き過ぎー！」って想像以上の過酷な生活。

早速、シェアメンバーで話し合っって居住改善に取り組むことに決定したそうです。今まで

使ったことのない湯たんぼの温もりに感動し、ぴゅーぴゅー吹くすま風対策のために結露防止シートの？を窓に貼ってみたり、音対策は時間を決めてお互いを気遣いながらの生活をするなど、とある路地の一角で四苦八苦の毎日が繰り返されてきました。そういった試みの中で、長屋の改善を頑張りながら住むことで新たな発見や驚き、たまには閃きがあり、最初はどんな生活になるか不安だったことが、今では楽しく感じてきたそうです。

また地域の事では、地区ごと違うゴミ出しの事や3人分の自転車の止め方などで指摘受け、地域の方々の様々なことでコミュニケーションをとる事も大事だと実感。そんなこんなで長屋に住むことは、毎日、試行錯誤しています。ある程度、住む事になれてき

たらまちの様々な魅力を感じるようになってきたそうです。地域の餅つき大会や地藏盆、生國魂祭り、まちアートなどに参加することで、まちの活気を感じ、さらに愛着を感じながら生活を送っています。今では、この長屋シェアの生活が終わってしまってもこのまちに住んでいきたいなあと考えたりしているそうです。

最近思うことは、長屋シェアの生活の中で、時には意見がぶつかったりもするけれど笑ったり、一緒に楽しんだりしながら他人同士でも気持ちを伝え、受け入れたりしながら、お互いの事を気遣い生活をする中で成長

したと実感しています。これって、ルームシェアならではのことでなく、まさに住むってことはルームシェア同様、地域の方々とこのよう



「電車の中で」

高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

天満橋からの地下鉄車中のこと。座っている高齢の婦人。娘さんに「次で下りるから」と声をかけられるのろろと戸口に移動された。谷町4丁目に着くと、急ぐ娘さんの後を小走りで追いかけて去っていかれた。

「手紙」という唄を聞いたが、老いていく高齢者の姿を描写し、願いは若い人にもその様子や姿を受け入れてほしいというものです。

『あなたと話するとき、何度も同じ話を繰り返しても、どうか遮らずにうなずいて欲しい。あなたにせがまれて繰り返し読んで絵本の暖かな結末はいつも私の心を平和にしてくれた』



歳を重ね、動作が鈍くなった姿は身内が一番受け入れ難いでしょう。この方もどれほどの切ない思いで共におられるのでしょうか。このような家族を目にする時「もう少し優しくして欲しい」と思うのです。せかせかしても、ゆっくり付き合っても、あまり時間は変わらない。優しさ分の豊かさが得られるのです。心に残る風景の色が大きく違うのではないかと思うのです。



車椅子から眺めれば

街の車いすおじさんから⑨
高齢や障害のために車椅子生活になることは誰にでも起こるかも...そんなことになって気が付いたり考えたことを連載で。

昨秋十月、京阪中之島線開業に合わせて天満橋駅京都市行きホームにエレベーターが設置されました。八軒家浜船着き場と京阪電車ホームで切換え使用する珍しいやり方です。淀屋橋方面にはエレベーターがあるが、京都方面には無くて車いすは京橋まで行っって乗車しなくてはならない不便さが解消されたのです。ところが残念なことにエレベーターへの歩道が自転車の不法駐輪で埋め尽くされ、通れない状態が続いていたのです。

天満橋駅一帯は駐輪禁止区域に指定されていて、もともと駐輪場以外に止めることは違法です。しかし大阪府は公共駐輪場を一台分も作っておらず、京阪関連会社が三百台分



どうか困っている車いすの人がいると気づいて下さい。(山名 勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

高齢者外出介助の会

からほりサロン

買い物で疲れたり、話し相手が欲しい！

一人で食事は面白くない

誰かと食べようなど

理由は何でも

先ず来て見て下さい！